

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(6 月分)について

2026 年 6 月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位: 千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	12,483,140	14,246,499	87.6%
国内旅行	16,093,849	15,563,543	103.4%
訪日旅行	699,926	726,861	96.3%
合 計	29,276,915	30,536,903	95.9%

【概況】

6 月の営業概況は、総取扱額 292 億 7,691 万 5 千円、前年同月比 95.9%となりました。

海外旅行は、2026 年 6 月の出国日本人数が前年同月比 103.4%となったものの、前月比では 1.3 ポイント減少するなど、安定した市場の回復には至っていません。

このような状況の中、当社は堅調に推移するアジアにおいて、韓国やインドネシア・バリ島の 5 つ星ホテルに宿泊する付加価値型商品をテレビ通販で募集告知し好評を博しました。また、ハワイではビジネスクラスやプレミアムエコノミークラスを利用した商品の拡充を図り、ハワイの取扱高も前年同月比 1.5 倍と大幅に伸長しました。一方、ヨーロッパは中東乗り継ぎツアーを一時催行中止としたことにより、取扱高は前年を若干下回りました。

この結果、当月の海外旅行の取扱高は 124 億 8,314 万円、前年同月比 87.6%となりました。

国内旅行は、6月の消費者物価指数が前年同月比で1.6%上昇したほか、国内宿泊料も3.1%上昇するなど物価の影響が継続し、前月に続き市場の停滞がみられます。

このような状況の中、当社ではベストシーズンを迎えた北海道や新緑の美しい甲信越、東北方面の商品を強化しました。その結果、テレビ通販による全国販売が奏功し、北海道、甲信越が前年を上回ったほか、東北では秘湯や山の幸・海の幸を楽しむ周遊型商品が好調に推移しました。また、東海をはじめ、全国的に「旬の味覚」をテーマにした日帰りバスツアーが人気を集め、集客を牽引しました。

この結果、当月の国内旅行の取扱高は、160億9,384万9千円、前年同月比103.4%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスレベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	3,042,289	2,457,363	123.8%
国内旅行	220,838	212,658	103.8%
訪日旅行	0	12,636	0%
合 計	3,263,128	2,682,657	121.6%

【概況】

6月の営業概況は、総取扱額32億6,312万8千円、前年同月比121.6%となりました。

海外旅行は、業務出張の増加により、前年同月比123.8%と前年を大きく上回りました。

国内旅行は、企画旅行の取扱いが堅調に推移し、前年同月比103.8%となりました。

2 社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスレベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	15,191,470	16,368,524	92.8%
国内旅行	16,274,478	15,738,615	103.4%
訪日旅行	699,926	739,497	94.6%
合 計	32,165,874	32,846,636	97.9%

※2 社間の取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724